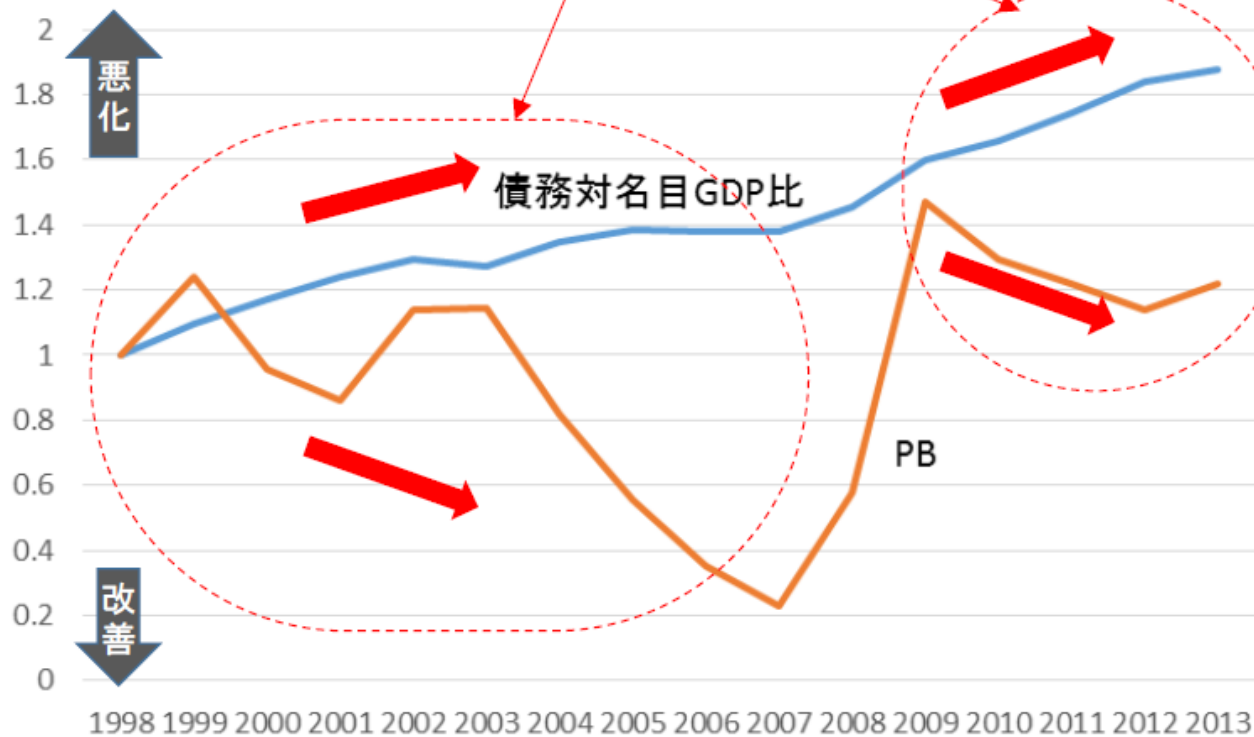


PB目標は、
プライマリーバランス
**債務対GDP比(名目)を
悪化させている**

自由民主党政務調査会
国土強靱化総合調査会
会長 二階 俊博

例えばデフレ期で...「PB」が改善しても「債務対GDP(名目)」は悪化



プライマリーバランス

図 「PB」と「債務対名目GDP比」と変遷 (1998年で基準化) (相関係数 = -0.67)

◆デフレ突入以後98年～2007年まで、PBは(上下しつつも)改善基調だったが、債務対GDP比(名目)は悪化し続けている。

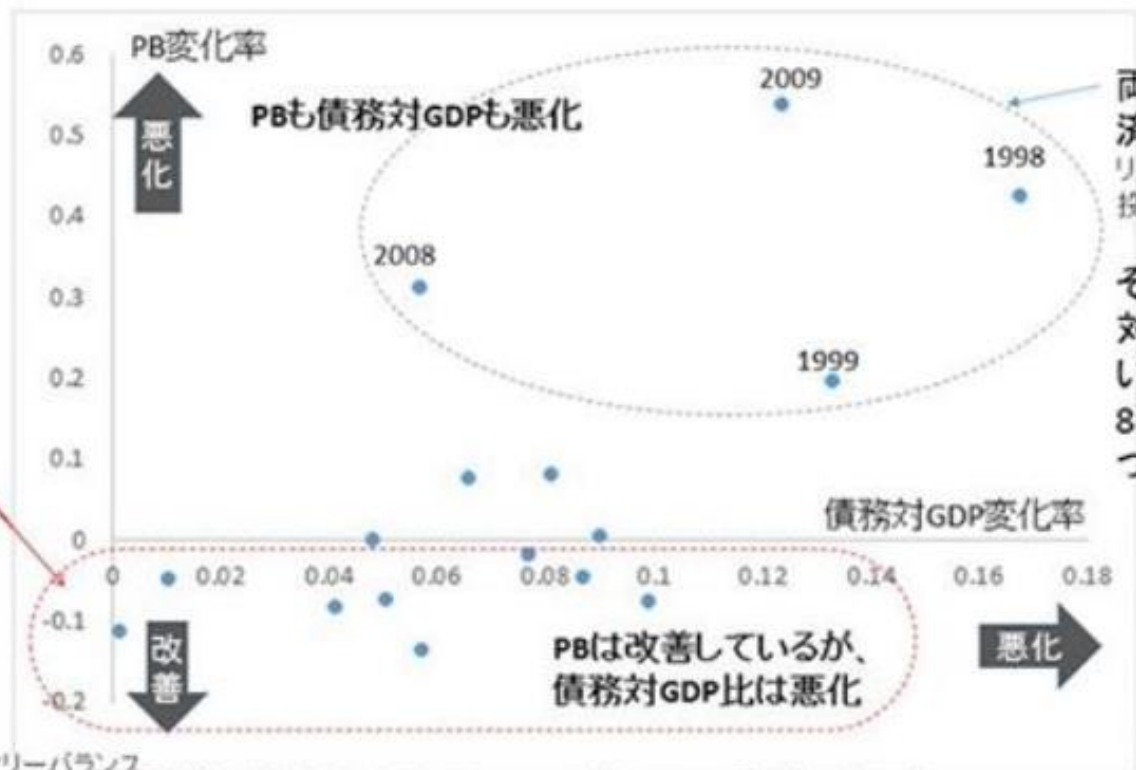
(相関係数 = -0.65)

◆2008～2009年のリーマン時、景気は大いに冷え込み、PBも債務対GDP(名目)もともに悪化。

◆リーマンショック以後の2009年～2013年、再びPBは改善基調だったが、債務対GDP(名目)は、再び悪化

(相関係数 = -0.67)

「PB」が改善していても、「債務対GDP比(名目)」は悪化



両者が共に大きいのは、大きな経済ショックがあった時だけ(2008年のリーマンショック、1998年の消費税・公共投資削減によるデフレ化ショック)

それらを除くと、PBの改善が債務対GDP比(名目)に明確に結びついているのは2年度(13%)だけで、8年度(67%)が、「悪化」に結びついている。

図 「PB」と「債務対名目GDP比」の「変化率」(対前年比)の関係

結論

- 今、政府は「債務対GDP比」を改善するための「手段」として、「PBの改善」を中間目標として掲げている（なお、そうした中間目標を掲げているのは、G20の中で日本一国だけ）
- しかし、1998年のデフレ突入以後、「PBの改善」は必ずしも「債務対GDP比の改善」に結びついていない。というよりもむしろ、「PBを改善」すればするほど、「債務対GDP比（名目）」が悪化している期間が、3分の2の期間にも及ぶ。
- したがって、「債務対GDP比」の改善を目指すのなら、「PBの改善」という中間目標を置くことは、少なくともデフレ突入後の今日、著しく不適當。この状況で「PBの改善」を目指すことは、そもそもの財政規律目標である「債務対GDP比の改善」の障害となっている。
（なお、こうした状況にあるのは「PBの改善目標 ⇒ 財政の縮減 ⇒ デフレ不況の放置 ⇒ 税収の悪化＋名目GDPの縮小 ⇒ 債務対GDP比（名目）の悪化」というプロセスがあるためである）
- 特に**安倍総理の「成長と財政再建を同時に目指す」という基本スタンス**においては、PBを介さず、直接債務対GDP比を目標の軸に据える方がより適當である可能性が高い。